

ヒントとアイデアを集めたい70周年記念担当

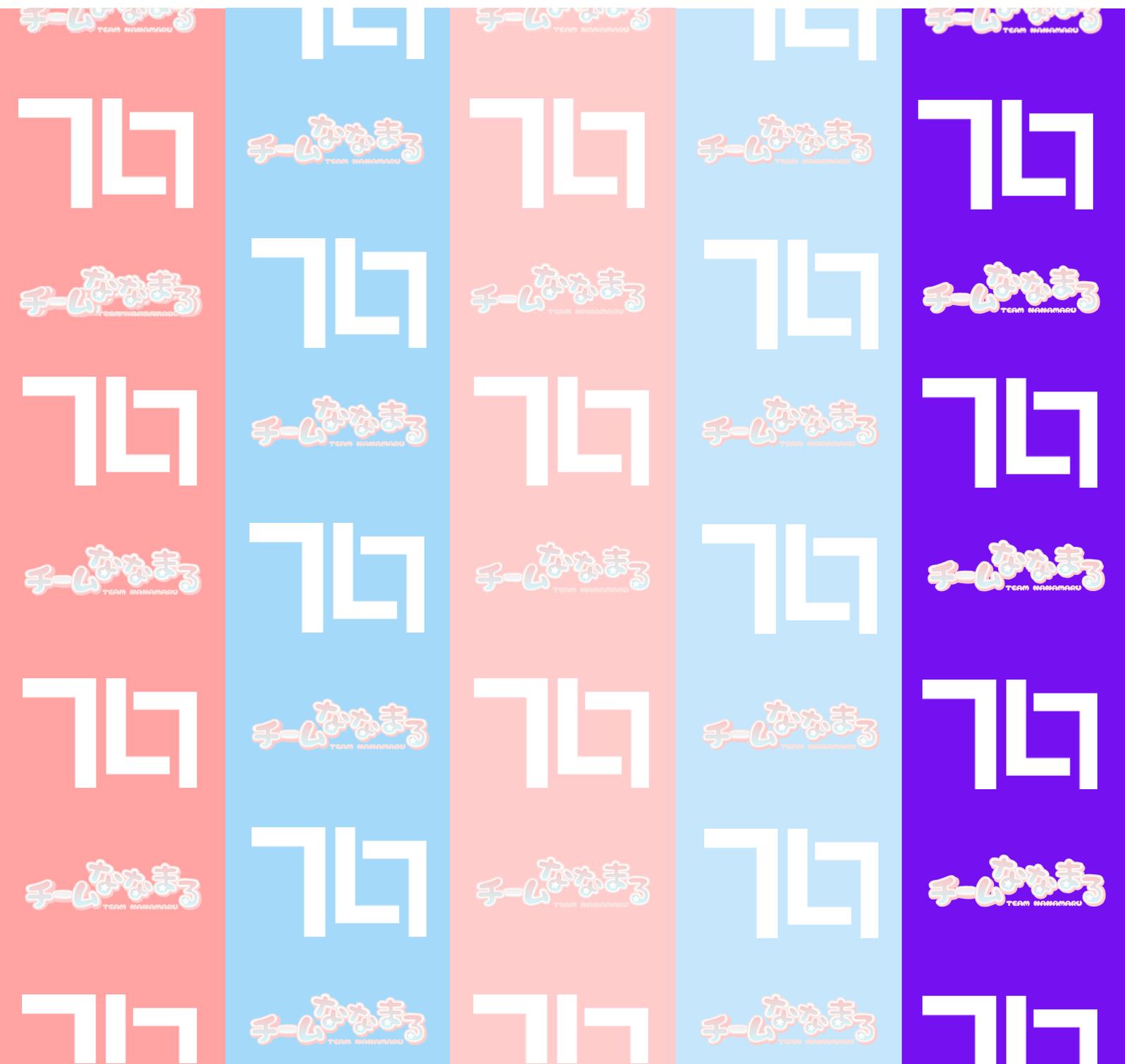
ナナマルワークス

特集1 | 議論白熱
記念式典&記念事業検討チーム

特集2 | ついに決定!!
村発足70周年記念ロゴマーク2次選考へ

Vol. **4**
Aug. 2024

NANAMARU
WORKS



01

記念式典&記念事業検討チーム会議

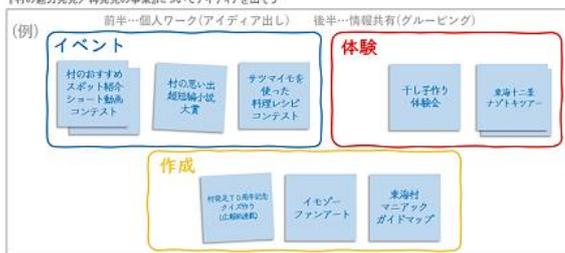
具体的なアイデアが続々と生まれる 東海村の魅力を変えて考える機会に

6月から始動した記念式典検討チームにて3回の会議を、同じく7月から始動した記念事業チームにて2回の会議を開催した。テーマに沿った熱い議論の末、様々なアイデアが生まれている。

東海村の魅力とはいったい何なのか！？

記念事業検討チームでは村の魅力を生かした記念事業について議論を行う。白熱した議論の中で見えてきた東海村の魅力の新たな活用方法、公共空間の利活用、過去を振り返り未来へとつながる事業など、東海村にはまだまだ無限の可能性が秘められていることに気づかされた。

グループワーク①
『村の魅力発見/再発見の事業についてアイデアを出そう』



◆シビックプライド向上や魅力発見の事業

【目的】 各グループ毎に実施
【方法】 村の魅力再発見する事業を実施し、わかもの部員を招き込み一緒に検討していきます。

	対象
魅力発見	・村内在住の幼児～中学生 ・新居住民(住んでから5年以内) ・これから東海村に移住を検討している人 ・東海村を訪れる人
魅力再発見	・村内在住の高齢者～高齢者 ・先住民(長く東海村に住んでいる人) ・東海村によく訪れている人

一いただいたアイデアを事務局で再検討させていただき、政策推進課が中心となり、実施に向けて取り組んでいく。

【村の魅力発見/再発見につながるような事業のアイデア出し】
出されたアイデアをグルーピング



ホッケー

- ・めざせオリンピック
日本代表さくらジャパンとの交流
→何らかのTVに取り上げてもらう
漫画(サクセスストーリー)をプロの漫画家に描いてもらう
- ・スポーツ大会/運動会
・東海高校/中学校/スポ少

ヤンサマチ行列(馬) 復活

- ・グループ桜ノ木公園
- ・村内 種料理フェス
- ・東海村写真コンテスト

↓ヤンサマチの歴史

村松大神宮が主体となって行われる行事。4月9日静神社や大神宮の御開をはじめる40数ヶ村の御開が平磯に下りする行事と豊洲前神社に集結した後、大神宮より出発する6頭の馬による競馬行事が統合された春の祭りである。ヤンサマチに神輿を出し競馬を行なう大神宮で会議が行われ、それを大相談または大奇合と呼ばれ、その会議には氏子の地区ごとに座る席が決まっていた。農上段には競馬の代表が座って番長となり、長時間をかけて協議した。村松の神輿が平磯に着くと祭壇が上げられ、村松海岸に停泊している6頭の馬が一斉に駆け出した。豊洲前神社まで走り、それぞれ騎手は手にした旗を神柱に向かって掲げた。この祭りは昭和初期にやっつてその後はやっつけない、昭和10年代に前浜に飛行場ができ、その後は射撃場となり、今では常陸那珂港や海浜公園ができ行事は出来なくなった。今は、夏のひたちなが祭りや東海まつりに御開が出しているのみである。

村松村VS石神村で色々バトル

- ・細引きや運動会など...旧村同士色々なことを行う。
- 最後はノーサイドでお互いをたたえ合う
東海村が1つになって良かったね

- ・イモゾーファミリーアニメ作成
- ・ショートムービー撮影
- ・東海十二景 アニメ/映画

- ・子どもたちが考えるみんなの夢かなえます
- ・子どもたちが考える東海新十二景
- ・東海音頭コンテスト



A・Bの2グループに分かれて議論する。Aグループから出されたアイデアは、村の特色あるスポーツの1つであるフィールドホッケーを生かしたイベントや、およそ100年前東海村で行っていたヤンサマチ行列の復活、村松村と石神村チームに分かれての対抗戦などのアイデアが出された。

Bグループからは、東海十二景ミステリーツアーや、村松虚空蔵尊で宝探し等のユニークなアイデアが数多く出された。その中からイチ押しアイデアとして、サツマイモをテーマとした新たなイベント『芋男競争』や、アイヴィルの屋上等を利用した花火大会の記念シートの2つの案について議論を深めた。

芋男競争(福男選びのような)

- ・芋掘り+中距離走
- ・コース...I-MOのまつり会場までゴール
- 会場にはモニター+ドローン中継
- ・実況は草山さん
- ・もしくは駅前通り(五反田線)
- ・補給食は芋
- ◎芋男には賞金・トロフィー・特典
- 《別案》
- ・マラソン大会形式
- ・芋をバトンにしたリレー
- 畑で芋選びからスタート
- ・ビーチフラッグなら芋フラッグ
- 全身を泥まみれに



花火大会カップルシート

- ・アイヴィルやイオンの屋上などを利用
- ・ダイニングエビのケータリング
- ・防音ブース
- ・SNS映え空間
- ・お土産付き
- ・虫よけ
- ・席代は1人1万円くらい(学割あり)
- 《阿漕ヶ浦公園Ver.》
- ・グランピング
- ・食事つき(バーベキュー)
- ・送迎付き
- ・5万円~10万円



記念式典のフィナーレ わかものが主体となる催しを考える

記念式典検討チームでは、令和7年7月6日に開催予定である、村発足70周年記念式典のフィナーレを飾る催しについて、2つのグループに分かれ検討していただいた。

イチ推しのアイデア

●東海村に関するクイズ大会

- ・問題をわかものが作成
- ・問題を作る中で東海村の歴史に触れたり、郷土愛が育まれたりしていく
- ・司会はNHK須藤アナウンサー(東海村出身)
- ・来場者参加型のクイズ
- ・村長も回答者
- ・様々な年代を対象とした問題を作成
- ・わかものや高齢者でペアになり問題に答える
- 問題例: 東海村に1番多い苗字はなつかし映像クイズ
- ・優勝者は村内名所を巡る旅行プレゼント(村長と巡る)



●村長ふれあいトーク70周年式典Ver.

- ・パネリストに村長とわかもの
- ・司会はNHK須藤アナウンサー(東海村出身)
- ・議題を事前に募集
- ・わかものから村長への未来志向の質問と答弁
- ・30年後の村議会を寸劇で再現
- ・予算質問
- ・語決したものを村長に提出
- ・最後は歌ってハッピーエンド

●中高生版のど自慢

- ・別日に予選会
- ・ゲストにわりと有名なアーティスト
- ・出演者の紹介
- ・うたう歌は会場が決める

Aグループから出たアイデア



イチ推しのアイデア

●色々な世代・来場者・村長で議論

- ・東海村の将来について村長と学生が話し合う
- ・パネリスト(高校1年生~大学4年生)
- ・LINEのオープンチャットを使い、会場を巻き込んで議論をする
- ・スマホで当日アンケート(リアルタイムでスクリーンに投影)
- ・事前のアンケートも取る
- ・クイズを取り込み来場者にも考えてもらう
- ・クイズの内容はわかものに考えてもらう
- ・東海村のことを知ってもらう
- ・わかもののみサミットへとつなげる



●東海村を日本一のeスポーツの村へ

- ・eスポーツ大会&プロのゲーム実況
- ・プログラマーを呼ぶ
- ・eスポーツ連盟の協力
- ・東海高校eスポーツ部が参加
- ・村内宿泊者限定でオープン参加も
- ・東海村に関する景品/賞金100万円
- ・ぶぶよ大会トーナメント
- ・参加者アンケート(村のいい所・わるい所)

●わかものが考えるサプライズ

- ・仕掛け人はわかもの/シナリオ作り
- ・高校生会が進行・会場も巻き込んで
- ・サプライズの流れでフィナーレへ。当日までの流れを動画で撮影しておき、後ほどYouTubeで公開する
- ・よみい(ユーチューバー)

Bグループから出たアイデア



観覧型から参加型へ

両グループに共通していたアイデアは、ステージ演者の出し物を来場者が見るスタイルではなく、来場者も巻き込み、共に楽しめるものであった。より多くの村民の記憶に残るような式典を目指していきたい。

まとめ

村にはまだまだ隠された魅力があふれている
来場者参加型の式典作りを今後検討
多くの村民の記憶に残る70周年を目指す

02

村発足70周年記念ログマーク2次選考へ 応募総数なんと338点 村の小中学生10人に1人が応募

7月22日から8月23日まで、村内在住在学の小中学生から募集した、村発足70周年記念ログマーク。担当の「ログマーク応募100作品は超えてほしいなあ…」の心配を他所に、300点を超える作品が応募された。



ログマークの応募方法は、窓口を持参する、電子申請、メール、郵送と4つの方法を設けていたが、ほとんどが窓口持参であった。普段は訪れる機会がないであろう、庁舎内の雰囲気、辺りをキョロキョロ見渡す子、少し緊張した様子の子、しっかりとした態度で「ログマークの応募お願いします」と話す子と様々な様子があった。

本事業は、村発足70周年の実施事業の1つである“シビックプライド向上や魅力発見の事業”に位置づいている。今回、ログマークの応募をしてくれた子どもたちは、作品を描くに当たって、「東海村らしさってなんだろう?」「特色ってなんだろう?」と調べ、作品を描いてくれたことと思う。このプロセスの中で、シビックプライド向上や、村の魅力を知る機会につながってくれたことと考える。

ロゴマーク2次選考にすすむ 10点の作品を大公開

事務局での選考と職員アンケートによる1次選考の結果、以下の10点の作品が2次選考へとすすむ。

2次選考は一般WEB投票とし、村内外の数多くの方々から投票をいただき、村発足70周年記念のロゴマークを決定していく。



東海村の花・スカシユリで70周年の「7」、東海村の特産品の丸干し芋・ナン・ブドウで「0」をデザインしました。



・とうかいむらの木・花・メジロを入れた。
・楽しい、明るい色にした。
・東海村で生まれたキャラクター（イモソーファミリー）や村のとくさん品など、東海村から生まれたことを2羽のメジロからうまれたようにみせた。



東海村の鳥であるメジロと東海村の花であるスカシユリをかきました。また、ロゴ全体を東海村の形にして太平洋をイメージした波をかきました！



東海村のロゴマークを「70」の「0」に見立てて使用させて頂き、東海村ならではの要素を取り入れられるよう工夫しました。また、東海村のゆるキャラであるイモソーを入れ、村民の皆さんから愛される周年ロゴになればいいなと考えました。



村発足70周年をお祝いするというので、70にかんむりをのせました。そしてみんなでお祝いしよう！東海村がわかりやすく、イモソーファミリーを書いてみました。工夫した所は、おめでとうのはくしゅと祝う気持ちが「水の波紋」のようにひろがっていくようすをえがきました。



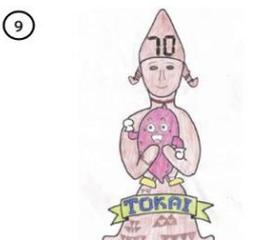
・東海村のことを調べたり、いろんなアピールできることをもちこむようにロゴにとりいれた。
・村の木の黒松は、ピンク・赤・オレンジの花が咲き、それぞれに花言葉があることを知り、メジロのみどり、海のみずいろ、松の花の赤・ピンク・スカシユリのオレンジをロゴの色にした。



東海村のロゴマークということで、東海村の木や鳥、花をとり入れました。色は落ち着きのあるもの（緑）でまとめ、70周年は目立つように（70）明るいオレンジ色をつかいました。また、70の数字はスカシユリをイメージして着色しました。



・70の文字はサツマイモのツルの葉（緑だから村章と一緒！）、葉はハート型→村を愛する気持ちを表す！
・黒松、メジロ、スカシユリ→東海村の木、鳥、花（オレンジ色でバランス！）&つばみー未来への希望
・Tokai Village: とうかいむら→誰もが読めるデザイン（海外の方々、子供）、殆どの人が見やすい色（青色）にしました。



東海村は壱輪が多く出土しているがよく知られていないから広めたい。

東海村で愛されているイモソーと壱輪のコラボ。東海村の歴史についても、東海村の産物についても知ってもらい、今後も大事にしていきたいのでイモソーを抱き抱えた。東海村のロゴの色は、東海村の自然の豊かさを表す緑と海の青色にして工夫。



・東海村のマークを入れた。
・イモソーを「0」にした。

ホームページや、すでに掲載されている広報紙の記事や、宣伝用のポスターの掲示。村公式LINEでの通知や、村内小中学校にチラシを配布するなど、多くの方々へ投票してもらえるよう周知していく。

みんなで選ぶ
村発足70周年記念ロゴマーク
一般WEB投票

投票期間：令和6年9月3日(火)～12日(木)
1～10の作品から1つ選んで投票してください！

投票方法
QRコードをスマホ読み、選挙用LINEアカウントから投票用紙をダウンロードし、投票用紙に記入して送信してください。
※投票用紙は投票用紙の裏面より、投票の準備作業から1つを複製してご利用ください。

投票受付期間：令和6年9月3日(火)～12日(木) 10時～18時
投票受付時間：令和6年9月3日(火)～12日(木) 10時～18時
投票受付場所：東海村役場 総務課 投票用紙配布コーナー
投票受付電話：059-282-7111(内線) 2-10 投票用紙配布コーナー

子-ムななまる
TEAM BANAMARU